



ふく た けい いち  
**福田 慶一**

しみん  
**市民クラブ**

**平成28年度津市一般会計予算の考え方は**

**問** 4大プロジェクトのうち、3事業が今年度で完了し、一般会計は前年度比2%減である。市長は「限られた財源で箱物建設を抑え、きめ細かな行政サービスを提供していく」と表明しているが、一般会計歳入の3割を占める市税が3年ぶりの減収、漸減傾向で、交付税上乗せ額も減少していく中、公債費負担が大きくなっていく状況にある。新年度予算に対する所見は。

**答** 津市が合併してから10年間、未来に向けた多くの事業を実現してきたが、産業・スポーツセンターの建設や久居駅周辺地区都市再生整備事業等、完成に向けて推進している事業もあることから、まずは、継続中の事業をしっかりと仕上げていく。加えて、津駅北の大谷踏切の拡幅等の市民生活の不便解消や津興橋の架け替え等の老朽化するインフラへの対応、小・中学校校舎の大規模改造等の教育や子育て支援を施策の中心に据えた取り組み、これらを新展開として施策の基軸とした。また、大型事業に係る市債償還の本格化等による財政構造の転換に対応すべく、減債基金の積み立てなど、次の世代にツケを残さない安定した財政基盤を維持する。こうした考えのもと編成した。

●その他の質疑・質問●

- 新しい総合事業について
  - 要支援者に対する訪問介護、通所介護について
  - 地域の介護予防について
- 墓地行政について
- 消防団施設の整備について
- 土曜日の教育活動について
  - 土曜授業についての考え方は
  - 土曜授業の現況は
  - 新年度について
- 学校司書について など



▲平成28年度の当初予算書と概要資料



わた なべ てる かず  
**渡辺 晃一**

つし しみん かい  
**津市民の会**

**大震災に強いマンホールトイレの設置計画は**

**問** 震度6強クラスの東海・東南海地震の発生が予想されている。東日本大震災では避難所の常設トイレが使えない状況が発生し、トイレを我慢するために水、食事を取らず、身体・精神の両面から多くの健康被害者が出た。この貴重な経験を踏まえ、災害発生時でも安心して快適に使用できるトイレ環境の整備が重要だ。整備状況や今後の設置計画はどうなっているのか。

**答** 災害用マンホールトイレの設置計画については、災害対策基本法と地域防災計画に位置付けられた施設で、敷地面積が1ヘクタール以上の防災拠点と避難所を対象としており、下水道供用開始後の地域において同トイレの整備を進めることとしている。これまでの整備状況については、平成22年度から整備を開始し、現在までに市内32カ所の小学校等の避難所へ整備を進めてきた。今後については、国の補助金を有効に活用し、平成28年度は一志中学校、一志西小学校、旧大井小学校、とことめの里一志の4カ所の設置に係る実施設計を予定しており、平成29年度から順次工事を進めていく。また、桃園小学校は実施設計を経て、平成30年度には工事を行う予定である。

●その他の質疑・質問●

- 施政方針より、地域懇談会の感想と今後の開催の狙いについて市長の想いを問う
- 地域防災力強化推進に関し、自治会・自主防災会による共助の協力推進と女性等の参画は
- 農業基盤整備事業に関し、農業施設の維持管理について
- 下水道事業の中長期的ビジョンに関し、津市下水道事業基本計画とは など



▲誰もが安心・快適に使用できるマンホールトイレ